



## 2020年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月7日

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4187 URL <https://www.ooc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 昌幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 本田 宗一 (TEL) (06)6264-5071  
 定時株主総会開催予定日 2021年2月25日 配当支払開始予定日 2021年2月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年2月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年11月期の連結業績(2019年12月1日～2020年11月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期	28,681	0.1	4,442	21.3	4,612	20.3	3,313	9.2
2019年11月期	28,638	△2.1	3,663	0.1	3,833	△2.6	3,035	13.3

(注) 包括利益 2020年11月期 3,472百万円(28.6%) 2019年11月期 2,699百万円(27.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年11月期	149.59	—	9.9	10.3	15.5
2019年11月期	137.05	—	9.7	9.1	12.8

(参考) 持分法投資損益 2020年11月期 一百万円 2019年11月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年11月期	45,324	35,025	76.5	1,564.57
2019年11月期	43,848	32,546	73.5	1,455.38

(参考) 自己資本 2020年11月期 34,658百万円 2019年11月期 32,233百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年11月期	5,257	△4,434	△648	6,511
2019年11月期	3,506	△2,739	432	6,342

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年11月期	—	18.00	—	22.00	40.00	885	29.2	2.8
2020年11月期	—	23.00	—	23.00	46.00	1,018	30.8	3.0
2021年11月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00		32.1	

## 3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,877	3.7	2,263	△5.1	2,482	1.0	1,692	△0.0	76.34
通期	30,740	7.2	4,550	2.4	4,845	5.0	3,316	0.1	149.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期	22,410,038株	2019年11月期	22,410,038株
② 期末自己株式数	2020年11月期	258,203株	2019年11月期	262,111株
③ 期中平均株式数	2020年11月期	22,150,671株	2019年11月期	22,146,563株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、大幅なマイナス成長となりました。緊急事態宣言の解除以降は、経済活動は段階的に再開されつつあるものの、依然として感染は拡大を続けており、先行きは不透明な状況で推移しております。

また、化学工業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自動車関連用途や化粧品などの幅広い分野において需要の減少が見られております。

このような状況の下で当社グループは、2020年11月期より、長期経営計画「Next Stage 10」の後半となる、第2次5ヶ年中期経営計画をスタートさせ、その目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。化成事業におきましては、選択と集中による製品の更新代謝を図り、採算性の向上に努めるとともに、グローバルに市場が拡大するUVインクジェットプリンター向け特殊インク用原料の拡販に注力いたしました。電子材料事業におきましては、次世代半導体材料開発の強化によるトップシェアの確保及び新規ディスプレイ材料の拡販に努めてまいりました。機能化学品事業におきましては、機能性ポリマーの開発を促進するとともに、化粧品原料や高純度特殊溶剤の拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は286億8千1百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は44億4千2百万円（前年同期比21.3%増）、経常利益は46億1千2百万円（前年同期比20.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は33億1千3百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおりません。）

#### ①化成事業

化成事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、新型コロナウイルス感染症の影響による自動車産業の生産減少に伴う自動車塗料用や展示会の中止に伴う印刷インキ用の販売が低調に推移し、売上高は減少いたしました。メタクリル酸エステルグループは、アクリル酸エステルグループと同様の理由から販売が低調に推移し、売上高は減少いたしました。また、売上高の減少により、セグメント利益は減少いたしました。この結果、売上高は98億4千3百万円（前年同期比15.4%減）、セグメント利益は6億4千8百万円（前年同期比18.3%減）となりました。

#### ②電子材料事業

電子材料事業におきましては、半導体材料グループは、半導体市場の伸びに伴い需要が好調に推移し、売上高は大幅に増加いたしました。表示材料グループは、リモートワークの普及によるノートPCの需要増などにより、売上高は増加いたしました。また、売上高の増加により、セグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は125億6千8百万円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益は28億3百万円（前年同期比33.6%増）となりました。

#### ③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、在宅勤務の増加や外出機会の減少により、化粧品の販売が低調に推移し、売上高は減少いたしました。機能材料グループは、受託品の販売減により売上高は減少いたしました。しかしながら、利益率の高い製品比率の増加によりセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は62億6千8百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は10億2千万円（前年同期比29.7%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産は、前連結会計年度に比べて14億7千6百万円増加し、453億2千4百万円となりました。主として受取手形及び売掛金の減少5億8千7百万円、製品の増加4億5千5百万円、製造設備及び研究設備の新設に伴う有形固定資産の増加13億9千8百万円などによるものです。

当連結会計年度の負債は、前連結会計年度に比べて10億2百万円減少し、102億9千9百万円となりました。主として支払手形及び買掛金の減少9億6千5百万円、設備代金の支払等に伴う未払金の減少6億8千7百万円、設備新設資金等の借入実施による長期借入金の増加2億1千2百万円などによるものです。

当連結会計年度の純資産は、前連結会計年度に比べ24億7千8百万円増加し、350億2千5百万円となりました。主として利益剰余金の増加23億1千6百万円及びその他有価証券評価差額金の増加1億1千2百万円などによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により獲得した52億5千7百万

円から、投資活動に44億3千4百万円投資し、財務活動において6億4千8百万円減少となったことなどにより、1億6千9百万円増加し、65億1千1百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益45億9千万円、非資金損益項目である減価償却費20億8千5百万円及び法人税等の支払額11億3千2百万円などにより、52億5千7百万円の増加（前年同期は35億6百万円の増加）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、44億3千4百万円の減少となりました。これは、主に設備新設等に伴う有形固定資産の取得による支出48億3千7百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、設備新設資金等の長期借入れによる収入13億5千万円、長期借入金の返済による支出9億8千万円及び配当金の支払額9億9千6百万円などにより、6億4千8百万円の減少（前年同期は4億3千2百万円の増加）となりました。

#### （4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響が長期化する可能性があり、米中間の通商問題の懸念も継続するものとみられ、依然として先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社グループといたしましては、2024年11月期までの第2次5ヶ年中期経営計画を基に、各事業におきましては次の課題に取り組んでまいります。

化成事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた自動車塗料用は、回復基調での推移が見込まれており、安定供給に注力いたします。また、引き続き不採算製品の整理を行い、採算性の向上に取り組んでまいります。

電子材料事業におきましては、主力である半導体用ArFレジスト原料の拡販に努めるとともに、次世代のEUVレジスト原料においても生産体制を整えて需要に対応してまいります。また、リモートワーク等の増加による、ディスプレイ関連材料の需要も堅調な推移が見込まれており、販売の拡大を進めてまいります。

機能化学品事業におきましては、2021年2月1日に三菱ケミカル株式会社より頭髮化粧品用アクリル樹脂の製造販売事業を譲受する予定であります。これにより、海外における化粧品原料の販売強化に注力いたします。また、子会社の神港有機化学工業株式会社における電子材料用溶剤の需要増加に対応してまいります。

これらを勘案し、次期業績目標は売上高307億4千万円、営業利益45億5千万円、経常利益48億4千5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益33億1千6百万円を予定しております。

#### （5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆様へ安定的かつ継続的な利益還元を実施することを経営の重要課題として位置付けております。会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ、配当性向30%を重要な指標のひとつとし、業績に応じた配当額を決定いたします。

当期（2020年11月期）の配当につきましては、当初1株当たり40円（第2四半期20円、期末20円）としておりましたが、電子材料事業の販売が好調に推移したこと等により、当期純利益が大幅に向上したため、基本方針に基づき第2四半期の配当を3円増配の23円、期末の配当を3円増配の23円（年間配当46円）とさせていただきます。また、次期（2021年11月期）の配当につきましては、業績予想に鑑み1株当たり年間48円（第2四半期24円、期末24円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,642,620	7,521,760
受取手形及び売掛金	8,287,409	7,699,661
電子記録債権	526,353	465,049
有価証券	—	200,250
製品	3,233,697	3,688,947
仕掛品	1,789,839	2,013,799
原材料及び貯蔵品	1,415,818	1,476,641
その他	77,248	80,681
貸倒引当金	△12,312	△12,387
流動資産合計	22,960,674	23,134,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,561,819	17,125,742
減価償却累計額	△9,210,051	△9,375,624
建物及び構築物 (純額)	6,351,767	7,750,118
機械装置及び運搬具	25,310,081	27,415,197
減価償却累計額	△21,257,624	△22,363,970
機械装置及び運搬具 (純額)	4,052,457	5,051,227
土地	2,225,335	2,225,335
建設仮勘定	1,745,961	564,575
その他	2,758,595	3,056,251
減価償却累計額	△2,233,390	△2,348,185
その他 (純額)	525,205	708,065
有形固定資産合計	14,900,727	16,299,321
無形固定資産		
その他	78,914	70,728
無形固定資産合計	78,914	70,728
投資その他の資産		
投資有価証券	5,485,076	5,458,084
退職給付に係る資産	134,282	83,972
繰延税金資産	22,382	34,184
その他	266,057	243,694
投資その他の資産合計	5,907,799	5,819,935
固定資産合計	20,887,441	22,189,985
資産合計	43,848,116	45,324,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,166,722	3,201,121
1年内返済予定の長期借入金	811,597	968,666
未払金	2,600,746	1,913,480
未払法人税等	647,233	715,869
賞与引当金	76,439	43,000
役員賞与引当金	59,780	64,080
その他	420,009	647,446
流動負債合計	8,782,529	7,553,664
固定負債		
長期借入金	1,817,156	2,029,377
繰延税金負債	456,517	555,388
その他	244,988	160,686
固定負債合計	2,518,661	2,745,452
負債合計	11,301,190	10,299,117
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,508,891	3,508,891
利益剰余金	23,752,015	26,068,688
自己株式	△441,707	△435,195
株主資本合計	30,419,495	32,742,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,055,556	2,168,185
為替換算調整勘定	△20,782	△15,242
退職給付に係る調整累計額	△220,546	△237,610
その他の包括利益累計額合計	1,814,227	1,915,333
非支配株主持分	313,202	367,259
純資産合計	32,546,925	35,025,273
負債純資産合計	43,848,116	45,324,390

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
売上高	28,638,568	28,681,191
売上原価	21,060,455	20,271,218
売上総利益	7,578,112	8,409,973
販売費及び一般管理費	3,914,945	3,967,619
営業利益	3,663,167	4,442,353
営業外収益		
受取利息	2,146	1,682
受取配当金	170,864	144,385
その他	50,691	78,777
営業外収益合計	223,702	224,845
営業外費用		
支払利息	8,217	9,109
為替差損	43,497	20,764
寄付金	—	16,000
損害賠償金	—	8,800
その他	1,411	—
営業外費用合計	53,126	54,674
経常利益	3,833,743	4,612,524
特別利益		
固定資産売却益	12,098	—
投資有価証券売却益	220,186	101,100
受取保険金	139,403	—
特別利益合計	371,687	101,100
特別損失		
固定資産除却損	24,130	113,157
ゴルフ会員権評価損	150	2,500
減損損失	—	7,776
特別損失合計	24,280	123,434
税金等調整前当期純利益	4,181,150	4,590,191
法人税、住民税及び事業税	1,159,619	1,202,845
法人税等調整額	△66,854	13,616
法人税等合計	1,092,765	1,216,461
当期純利益	3,088,384	3,373,729
非支配株主に帰属する当期純利益	53,153	60,184
親会社株主に帰属する当期純利益	3,035,231	3,313,545

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
当期純利益	3,088,384	3,373,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△366,481	111,230
為替換算調整勘定	△11,764	5,540
退職給付に係る調整額	△10,410	△18,191
その他の包括利益合計	△388,655	98,578
包括利益	2,699,729	3,472,308
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,647,107	3,414,651
非支配株主に係る包括利益	52,621	57,656

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,600,295	3,508,891	21,538,296	△449,267	28,198,216
当期変動額					
剰余金の配当			△819,391		△819,391
親会社株主に帰属する当期純利益			3,035,231		3,035,231
自己株式の取得				△24	△24
自己株式の処分			△2,120	7,583	5,463
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,213,719	7,559	2,221,278
当期末残高	3,600,295	3,508,891	23,752,015	△441,707	30,419,495

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,421,701	△9,017	△210,331	2,202,351	261,789	30,662,358
当期変動額						
剰余金の配当						△819,391
親会社株主に帰属する当期純利益						3,035,231
自己株式の取得						△24
自己株式の処分						5,463
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△366,145	△11,764	△10,214	△388,123	51,412	△336,710
当期変動額合計	△366,145	△11,764	△10,214	△388,123	51,412	1,884,567
当期末残高	2,055,556	△20,782	△220,546	1,814,227	313,202	32,546,925

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,600,295	3,508,891	23,752,015	△441,707	30,419,495
当期変動額					
剰余金の配当			△996,749		△996,749
親会社株主に帰属する当期純利益			3,313,545		3,313,545
自己株式の取得				△295	△295
自己株式の処分			△123	6,808	6,684
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,316,672	6,512	2,323,185
当期末残高	3,600,295	3,508,891	26,068,688	△435,195	32,742,680

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,055,556	△20,782	△220,546	1,814,227	313,202	32,546,925
当期変動額						
剰余金の配当						△996,749
親会社株主に帰属する当期純利益						3,313,545
自己株式の取得						△295
自己株式の処分						6,684
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	112,629	5,540	△17,063	101,105	54,056	155,162
当期変動額合計	112,629	5,540	△17,063	101,105	54,056	2,478,348
当期末残高	2,168,185	△15,242	△237,610	1,915,333	367,259	35,025,273

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,181,150	4,590,191
減価償却費	1,771,366	2,085,898
のれん償却額	66,333	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34,976	74
賞与引当金の増減額 (△は減少)	76,439	△33,439
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,880	4,300
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	23,714	24,134
受取利息及び受取配当金	△173,011	△146,067
支払利息	8,217	9,109
為替差損益 (△は益)	23,225	11,379
固定資産売却損益 (△は益)	△12,098	—
固定資産除却損	24,130	113,157
減損損失	—	7,776
投資有価証券売却損益 (△は益)	△220,186	△101,100
受取保険金	△139,403	—
ゴルフ会員権評価損	150	2,500
売上債権の増減額 (△は増加)	△724,352	678,366
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△643,035	△738,970
仕入債務の増減額 (△は減少)	364,499	△969,568
その他	△170,876	715,703
小計	4,402,407	6,253,443
利息及び配当金の受取額	172,758	145,047
利息の支払額	△8,521	△9,087
保険金の受取額	139,403	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,199,843	△1,132,252
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,506,205</b>	<b>5,257,150</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,150,000	△1,960,000
定期預金の払戻による収入	3,150,000	2,250,000
有形固定資産の取得による支出	△3,263,278	△4,837,595
有形固定資産の売却による収入	12,925	—
無形固定資産の取得による支出	△71,682	△9,842
投資有価証券の取得による支出	△5,365	△5,357
投資有価証券の売却による収入	378,698	126,880
投資有価証券の償還による収入	300,000	—
保険積立金の積立による支出	△5,997	△5,121
保険積立金の払戻による収入	2,001	6,726
その他	△86,460	3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,739,159</b>	<b>△4,434,307</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	1,350,000
長期借入金の返済による支出	△730,154	△980,710
リース債務の返済による支出	△15,654	△16,901
自己株式の取得による支出	△24	△295
自己株式の処分による収入	—	60
配当金の支払額	△819,391	△996,749
非支配株主への配当金の支払額	△1,800	△3,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	432,975	△648,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,516	△5,507
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,165,503	169,140
現金及び現金同等物の期首残高	5,177,116	6,342,620
現金及び現金同等物の期末残高	6,342,620	6,511,760

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において独立掲記しておりました営業外収益の「保険解約返戻金」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前連結会計年度において「営業外収益」の「保険解約返戻金」に表示されていた1,452千円は「その他」に含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響につきましては、2020年後半まで継続し、その後徐々に回復が見込まれることを前提としておりましたが、感染が収束する時期の見通しは困難であり、2021年においても一定期間は影響が継続するものと予想しております。当社グループの事業及び業績への影響につきましては、重大な影響を与えるものではないと判断しております。

(事業の譲受について)

当社は2020年7月31日付で三菱ケミカル株式会社の事業の一部である頭髮化粧品用アクリル樹脂の製造・販売事業を譲り受けることで合意し契約を締結いたしました。これにより製品ラインナップの拡充及び海外販売のチャンネルを得ることができ、機能化学品事業の強化に繋がります。事業の譲受時期は2021年2月1日を予定しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、アクリル酸エステル製品を軸に事業展開をしております。従いまして、報告セグメントの決定にあたっては、アクリル酸エステルを発展的に応用した製品群のうち、製品の種類及び販売市場等の類似性を考慮し、「化成品事業」「電子材料事業」「機能化学品事業」の3区分を設定いたしました。

セグメントごとの主な事業内容は次のとおりであります。

セグメント名称	主な事業内容
化成品事業	塗料・粘接着剤・インキ向け特殊アクリル酸エステル等及びアクリル酸
電子材料事業	ディスプレイ・半導体関連を中心とした電子材料
機能化学品事業	化粧品・機能材料、その他

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,636,706	10,660,935	6,340,926	28,638,568	—	28,638,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	263,312	263,312	△263,312	—
計	11,636,706	10,660,935	6,604,239	28,901,881	△263,312	28,638,568
セグメント利益	793,330	2,097,762	787,113	3,678,206	△15,038	3,663,167
セグメント資産	7,605,367	12,238,390	3,656,327	23,500,085	20,348,031	43,848,116
その他の項目						
減価償却費	601,841	884,216	285,308	1,771,366	—	1,771,366
のれんの償却額	—	66,333	—	66,333	—	66,333
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	153,045	2,522,256	391,423	3,066,725	503,890	3,570,615

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額は、セグメント間取引による債権の相殺消去98,990千円、各報告セグメントに配分していない全社資産20,514,430千円及び棚卸資産の調整額67,409千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金や投資有価証券であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,843,741	12,568,666	6,268,782	28,681,191	—	28,681,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	321,167	321,167	△321,167	—
計	9,843,741	12,568,666	6,589,949	29,002,358	△321,167	28,681,191
セグメント利益	648,503	2,803,086	1,020,831	4,472,420	△30,067	4,442,353
セグメント資産	6,773,428	13,554,517	3,841,507	24,169,453	21,154,937	45,324,390
その他の項目						
減価償却費	747,596	1,085,458	252,843	2,085,898	—	2,085,898
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,091,034	1,395,766	321,268	2,808,070	1,967,983	4,776,053

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2)セグメント資産の調整額は、セグメント間取引による債権の相殺消去107,952千円、各報告セグメントに配分していない全社資産21,360,186千円及び棚卸資産の調整額97,297千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金や投資有価証券であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり純資産額	1,455.38円	1,564.57円
1株当たり当期純利益金額	137.05円	149.59円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年11月30日)	当連結会計年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,035,231	3,313,545
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	3,035,231	3,313,545
普通株式の期中平均株式数(株)	22,146,563	22,150,671

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。